

■主な規格

- 1) 周波数特性 30Hz~20KHz (±2dB)
- 2) 全高調波歪 0.5%以下
- 3) 入力換算ノイズ -121dBm (IHF-A)
- 4) 最大出力レベル +18dBm (600Ω負荷 1KHz)
- 5) トーン・コントロール BASS 100Hz ±15dB
TREBLE 10KHz ±15dB
- 6) パラメトリック・イコライザー MIDDLE ±15dB
MID. FREQ. 200Hz~5.6KHz
- 7) VU メーター OVU = +4dBm
- 8) チャンネル・ピーク・インジケータ +15dBm (チャンネル・センド・レベル)
- 9) 利 得

- MIC IN → MASTER OUT 60dB
- MIC IN → MONITOR OUT 60dB
- MIC IN → EFFECTS OUT 42dB
- MIC IN → CH SEND 33dB
- MIC IN → LINE OUT 40dB
- CH RETURN → MASTER OUT 27dB
- EFFECTS RETURN → MASTER OUT 30dB
- TAPE IN → MASTER OUT 30dB

- 10) 最大入力レベル +18dBm (TRIM 0dB)
-12dBm (TRIM 30dB)

11) 入出力端子仕様

	インピーダンス	定格レベル	使用コネクタ
MIC INPUT	47KΩ	-50dBm	ホーンジャック
CH RETURN	47KΩ	-20dBm	ホーンジャック
EFFECTS RETURN	47KΩ	-20dBm	ホーンジャック
TAPE IN	47KΩ	-20dBm	ピンジャック
CH. SEND	10KΩ	-20dBm	ホーンジャック
MASTER OUT	10KΩ	+4dBm	ホーンジャック
MONITOR OUT	10KΩ	+4dBm	ホーンジャック
EFFECTS OUT	10KΩ	-20dBm	ホーンジャック
LINE OUT	10KΩ	-20dBm	ピンジャック
PHONES	8Ω	0.25W×2	ホーンジャック (ステレオ)

- 12) 重 量 5.7Kg
- 13) 寸法 (W×H×D) 482×95×320 (mm)
- 14) 消費電力 100V (50/60Hz) 19W

規格および外観は、改良等の理由で予告なしに変更することがあります。



株式会社 日伸音波製作所

MI-PX0701・SO 1983-7印刷 RM80 取扱説明書 Printed in Japan

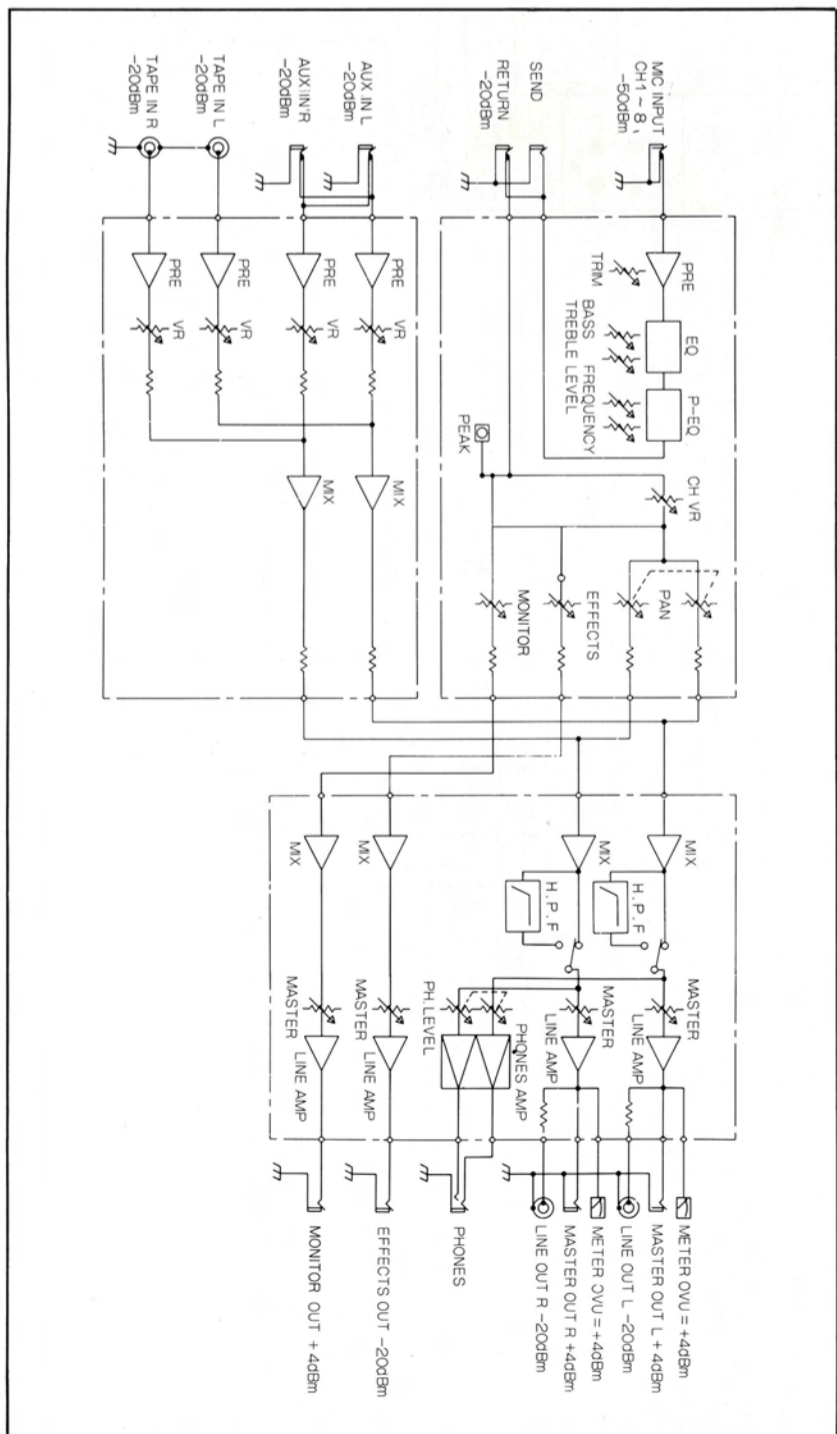
8 CHANNEL MIXER RM80

取扱説明書

OWNER'S MANUAL

マクソンは、新しい時代の要求と皆様のご意見を反映した製品を常にお届けできるように心掛けております。マクソンの魅力を十分に引き出すためにも、ご使用前にこの説明書をご一読ください。

■フロッピーディスク



- このセットはAC100V専用です。もしAC100V以外の電源電圧で使用される場合は電圧調整器でAC100Vに合わせてください。又、海外で使用される場合は、当社サービスマンにご相談ください。
- 電源コネクタを電源コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。電源コネクタを引くだけで抜くなどの無理な使い方をすると断線などの故障の原因になります。
- ケーブルのケーブルを取りはずして内部に手を触れないでください。
- 電源コネクタは大切に扱ってください。ケーブルの被覆が切れたりこすられたりして芯線が露出している電源コネクタをそのまま使用すると感電や火災の原因になります。
- 本機内部に水などの液体や可燃物、ペンや油性ペンなどの金属類を入れないように注意してください。
- 感電や故障の原因になります。
- 本機を設置する場所は、0°C~40°Cの場所で、極端に高温、低温、湿度差の激しい場所での使用は避けてください。
- ホコリや湿気の少ない通風のよい場所、又、電源電圧の変動が少ない場所での使用ください。
- 8チャンネル、2アンプの2アンプの2アンプです。
- 完全入力方式を採用しているためPANにより簡単に音像の定位ができます。
- 各チャンネルにMONITOR送り機能があります。PAでのFOLD BACK等に便利です。
- 各チャンネルにEFFECT送り機能があります。効果音機器使用に便利です。
- 各チャンネルにSEND-RETURN端子がありますので、チャンネル毎にフロッピーディスクやエレクトロニクス等が接続できます。
- 各チャンネル共にTRIMが30dB連続で可変できますので、どのような入力にも対応できます。
- インプットモジュールのフロッピーには、BASS、TREBLEと、さらに200~5.6KHz連続可変の1/3オクターブフロッピーを採用しています。
- PEAKのインジケータが各インプットモジュールについており、レベルの調整が非常に容易になります。
- 大型で見やすいVUメーターを装備しています。
- 19インチ標準ラックシステムに適合しています。
- ワミの色を機別別にしているため操作が簡単になります。
- ハットホーンにより出力をモニターできます。

■各部名称と使い方

〈前面パネル〉

- ① INDICATOR (RED) (ピークインジケータ)

各チャンネルのレベルボリューム (フェーダー) に入る信号の大きさが +15dB 以上になると点灯します。
- ② TRIM (トリム)

各チャンネルの入力レベルに合わせるボリュームです。規定入力レベルを -50dBm ~ -20dBm まで連続的に可変します。最大入力レベルは +12dBm です。入力レベルに合わせて適正な位置にセットしてください。
- ③ TREBLE (トレブル)

高域の音質をコントロールします。10kHz にて ±15dB 可変できます。0 のポジションでフラットになります。
- ④ MID. LEVEL (ミドル・レベル)
- ⑤ MID FREQ. (ミドル・フレクエンシー)

ある周波数帯域をブーストまたはカットさせたまま連続してその中心周波数を可変させることができるパラメトリックイコライザーです。⑤ の "MID FREQ." ツマミで中心周波数 (200Hz ~ 5.6 kHz) を連続可変し④ の "MID. LEVEL" ツマミでブースト/カット量 (±15dB) を連続的に可変します。0 のポジションでフラットになります。
- ⑥ BASS (バス)

低域の音質をコントロールします。100Hz にて ±15dB 可変できます。0 のポジションでフラットになります。
- ⑦ MONITOR (モニター)

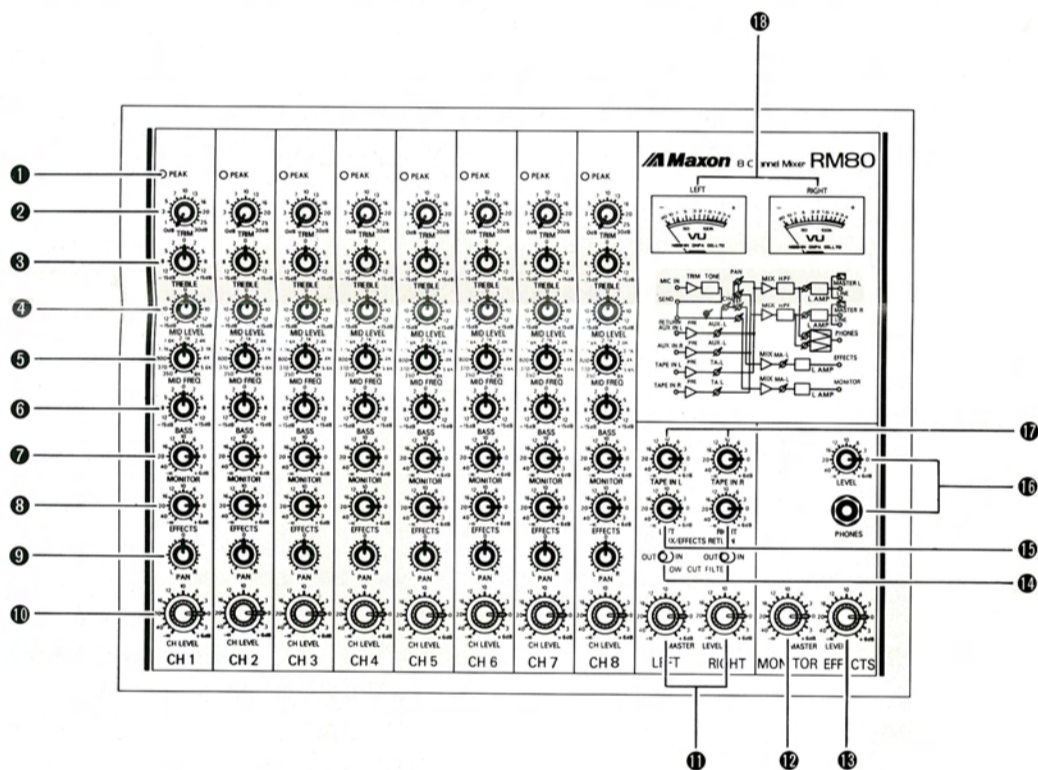
プリ・フェーダー信号をとりだし、ミキシングレベル/バランスをとるボリュームです。CH LEVEL (フェーダー) の位置に関係なくレベル調節ができますので、PA 等のモニター信号として使います。
- ⑧ EFFECTS (エフェクツ)

ポスト・フェーダー信号をとりだしミキシングレベル/バランスをとるボリュームです。CH LEVEL (フェーダー) の位置に影響しますから、CH LEVEL が "0" の時は出力がなくなります。効果音機器等に接続します。
- ⑨ PAN (パン)

各チャンネルの入力信号を L (左) R (右) に振り分け音像の定位をします。
- ⑩ CH LEVEL (チャンネル・レベル)

各チャンネルの信号を ① のマスターへバランスをとりながらミキシングするチャンネルレベルボリューム (フェーダー) です。
- ⑪ MASTER LEVEL (マスター・レベル)

各チャンネル信号をミキシングした後、総合送りレベルを調整します。信号は背面パネルの "MASTER OUT" より送り出されます。



- ⑫ MASTER LEVEL-MONITOR (モニター・マスター・レベル)

各チャンネルの "MONITOR" の信号をミキシングした後 "MONITOR" の総合送りレベルを調整します。信号は背面パネルの "SEND MONITOR" より送り出されます。
- ⑬ MASTER LEVEL-EFFECTS (エフェクツ・マスター・レベル)

各チャンネルの "EFFECTS" の信号をミキシングした後 "EFFECTS" の総合送りレベルを調整します。信号は背面パネルの "SEND EFFECT" より送り出されます。
- ⑭ LOW CUT FILTER (ローカット・フィルター)

100Hz にて 12dB/oct のローカット、フィルタースイッチです。不要な低域の除去に使用します。
- ⑮ AUX/EFFECTS RETURN (アックス/エフェクツ・リターン)

背面パネルの "RETURN AUX IN L, AUX IN R" から入力された信号をレベル調節して MASTER へミキシングするボリュームです。
- ⑯ PHONES (フォーン)

MASTER のモニターをするヘッドホンの LEVEL 調節とジャックです。
- ⑰ TAPE IN (LEFT, RIGHT) (テープ・イン)

テープデッキからの入力信号を調節し MASTER の LEFT, RIGHT へミキシングします。
- ⑱ VU METER (LEFT, RIGHT) (VU・メーター)

MASTER の信号の送りレベルを表示します。レベルは、0 (ゼロ) VU = +4dBm です。

〈背面パネル〉

- ⑲ MIC INPUTS (マイクインプット)

CH1 ~ CH8 のマイクロホン入力ジャックです。マイクロホン等 -50dBm ~ -20dBm の規定入力信号を接続して下さい。
- ⑳ SEND (チャンネル・センド)

各チャンネルの "CH LEVEL" の前の信号をとり出します。エコー等、効果音機器へ信号を送ります。
- ㉑ RETURN (チャンネル・リターン)

各チャンネルの "CH LEVEL" に信号を送ります。エコー等、効果音機器からの信号を入力させます。
- ㉒ MONITOR SEND (モニター・センド)

"MONITOR" の信号の出力ジャックです。FOLD BACK 等モニター送りに信号を送ります。
- ㉓ EFFECTS SEND (エフェクツ・センド)

"EFFECTS" の信号の出力ジャックです。エコー等、効果音機器へ信号を送ります。
- ㉔ EFFECTS RETURN (AUX IN LEFT, RIGHT) (エフェクツ・リターン)

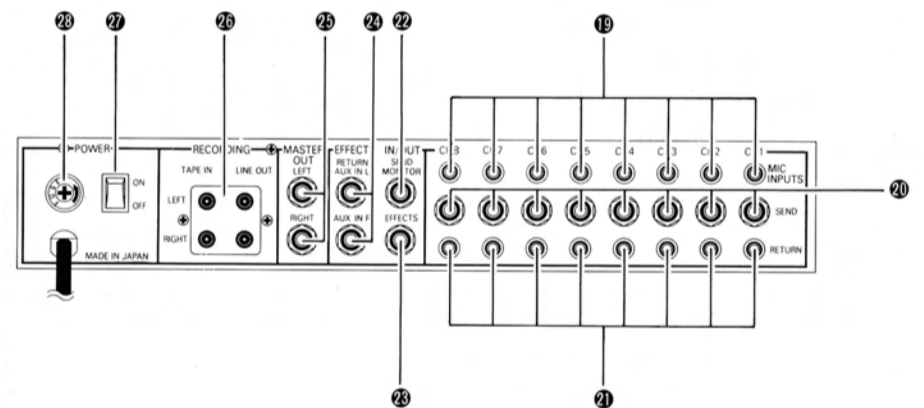
エコー等、効果音機器からの信号を接続して下さい。プラグを片側接続した場合モノラル入力として使用できます。又、LEFT, RIGHT それぞれに接続した場合はステレオ入力となります。
- ㉕ MASTER OUT

MASTER 信号の出力です。VU メーターが OVU 時に +4dBm の出力が得られます。
- ㉖ RECORDING (レコーディング)

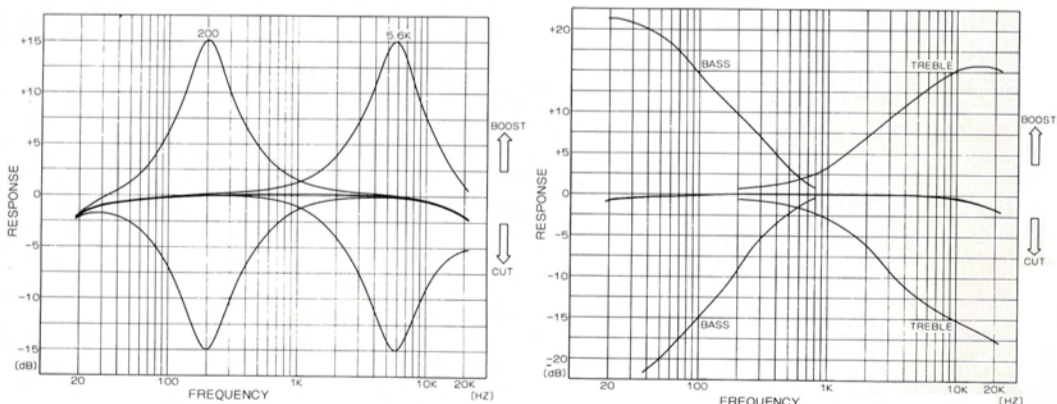
テープデッキ等を接続して下さい。
- ㉗ POWER SW (パワー・スイッチ)

電源スイッチです。"ON" で電源が入り VU メーターのランプが点灯します。"OFF" で電源が切れます。
- ㉘ FUSE (ヒューズ)

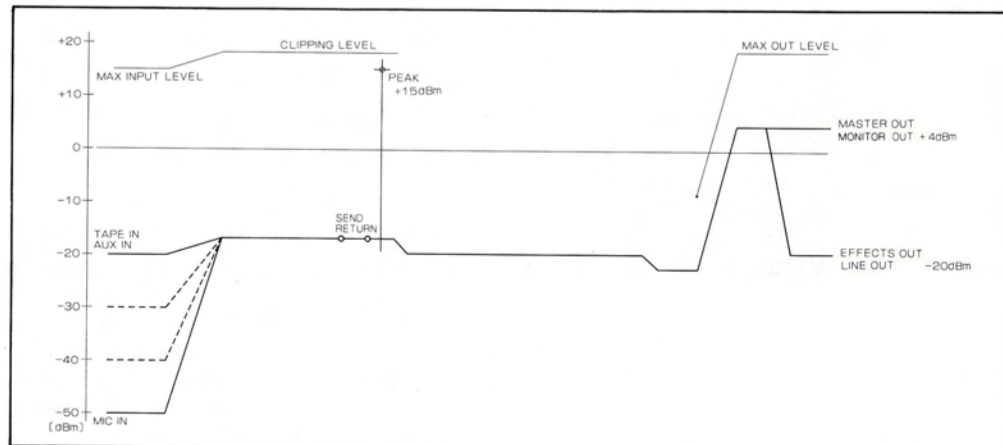
ヒューズ交換の場合は定格のものと交換して下さい。



■パラメトリック・イコライザー特性



■レベルダイアグラム



■接続例

